

第 711 回 例 会

29年3月3日

本日のプログラム

- ・ソング 「奉仕の理想」
- ・卓話 小田 清一 会員
「ぼんやり日本人考」
- ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 5階「ガーデンルーム」
- ・第9回理事会 13:40～ 4階「末広の間」

次回(3月10日)のプログラム

- ・USJ例会 (李くん歓送会)
時間 18:00 ～
場所 USJ内レストラン「パークサイド・グリル」

3月のお誕生日

3日 秋山 千尋 会員

先週(2月24日)の例会報告

■会長の時間

皆さんこんにちは。先週の土曜日は第5組のロータリーディ(旧IMインターシティ・ミーティング)が開催されました。ホストクラブは木岡ガバナー補佐の梅田東RC、場所は新阪急ホテル、186名(主催者発表)の出席のもと開催されました。当クラブの出席は13名が登録いただいていたのですが、当日出席は6名と他クラブの半分以下で大変残念でした。お忙しいなか出席いただいた皆様には厚く御礼申し上げます。来年は1月27日堂島RCさんがホストで開催されますので、たくさんの皆様の参加を期待したいと思います。なお今回のテーマは「温故知新、持続的発展を通して人類に奉仕しよう」ということで、第1部の基調講演「千年企業に学ぶ」とした講演に続いて、第2部は「職業奉仕の原点とは」と題した意見交換という構成でした。ロータリーのテーマと基調講演をうまく結び付けた構成は大成功だったと思います。テーマ構成だけでなく、終了後のパーティを省いて休憩時間に別室でのティタイムを設けるなど、我々の次々年度の開催に大変参考になる内容でした。

「千年企業に学ぶ」と題した基調講演は、ノンフィクション作家で拓殖大学国際学部教授の野村進氏による老舗企業に関する内容で、皆さまにとって大変参考になる内容でしたので報告書が手に入ればぜひ一読いただければと思います。さわりだけご紹介させていただくと、200年以上続いている企業は世界に6000社ほどあるがそのうちの半分が日本にある、また1000年企業は日本に7社あってそのうち5社が関西にあるとのこと。日本は世界に誇れる長寿企業の国だということです。その理由は第1に地政学的な理由で「島国」のため侵略や大きな内戦がなかったということ。第2に「継続」を尊ぶ価値観がある、第3に「自分の手を汚してモノを作る」ことを尊ぶ民族だということが考えられるそうです。そしてその永く続ける秘訣として以下の3点が紹介されました。皆さまの今後の経営にぜひ活かしていただければと思います。

- ①「適応力」時代の変化に対応できる力
- ②「許容力」3代目の養子という言葉があるように必要があれば外部の有能な人材を登用する力(息子は選べないが婿は選べる)
- ③「本業力」あくまで本業重視で分相応に

【来客紹介】 0名

【出席報告】

29年2月24日(第710回例会)				
会員総数	出席免除会員	出席会員	欠席会員	出席率
34名	1名	22名	11名	66.67%

【幹事報告】

〔回覧資料〕

- 1) 血液センターニュース(2017冬)
- 2) 他クラブより例会変更のお知らせ(大阪北梅田RC)
- 3) 出欠回覧表(ゴルフ&有志のつどい)

ニコニコ箱(2月24日)

秋山 千尋 =2月も逃げるようでもう終りですが、1年でもっとも寒い時期なので、栄養価が高く免疫力をアップしてくれるホウレン草をおすすめします。豊富な鉄分をはじめ、風邪やインフルエンザの予防に役立つビタミンA・C・Eを含んでいるそうです。

森本 良嗣 =又寒いです。

大屋 準一 =来る早々に和氣さんよりソングリーダーのお願いがありました。「ノー」と言えないロータリアン、横で玉置幹事が歌が嫌なら「会長の時間」がありますとの事でした。 ああ、コワ～～～

【SAA報告】	ニコニコ箱	本日計 3000円	今年度合計 3885471円
---------	-------	-----------	----------------

クラブフォーラム(2月24日)

国際奉仕委員会ご担当 菊 泰仁 会員

【五大奉仕部門】(ロータリークラブ活動の哲学的および実際的な基準)

第1「クラブ奉仕」第2「職業奉仕」第3「社会奉仕」第4「国際奉仕」第5「青少年奉仕」(2010年規程審議会にて「新世代奉仕」採択、四大奉仕に追加、2013年「新世代→青少年」改称)

【国際奉仕】

ロータリーの第4奉仕部門で、国際理解、親善、平和を推進するために実施するすべての活動

【国際奉仕の4分野】

- ①世界社会奉仕(WCS活動)
- ②国際レベルの教育及び文化活動(「ロータリー友情交換:海外ロータリアンの家に滞在」し、国際理解と親睦を深める)「世界ネットワーク活動グループ:職業および趣味別グループと奉仕活動関連グループ」「国際青少年交換(現在は第5奉仕部門「青少年奉仕」:高校生または該当する年齢の若者に外国の文化に触れ、学ぶ機会を提供)」
- ③特別月間と催し(毎年2月「世界理解月間」は、世界平和に不可欠な理解と親善を強調したプログラムと活動の実施、2月23日「世界理解と平和の日」)
- ④国際的な会合(国際大会をはじめとする国際的な会合に積極的に参加し、国際レベルで友情や親睦を深める)

【世界社会奉仕活動】(World Community Service)

(歴史的経緯)

- ①1905年2月3日シカゴRC(ロータリー創立日)からスタートした初期ロータリーには、今日の人道的奉仕活動を主体とした国際奉仕の概念はなく、1906年シカゴクラブ定款制定で「相互扶助と親睦の概念」「社会的意義」が導入(社会奉仕の最初は1909年シカゴでの公衆トイレ設置活動)
- ②1910年全米ロータリークラブ連合(16RC、1500人)が誕生し、ポールハリスが初代会長に就任(RI創立)、カナダ(米国以外で初、翌年加盟)、かにRCが拡大したことがきっかけとなり、相互訪問など外国のクラブ同士の交流に発展、1912年国際ロータリークラブ連合会に改称
- ③1917年アトランタ国際大会にてアーチ・クランク会長が「ロータリーが基金を創り、全世界的な規模で、慈善、教育、その他社会奉仕の分野で、何か良いことをしよう」と提案し「ロータリー基金」が設立(最初の寄付はカンザスシティRCからUSD26.5)、1928年「ロータリー財団」に名称変更、1931年に信託組織化
- ④1921年エジンバラ国際大会にて「奉仕というロータリーの理想に結束した職業人の世界的友好による理解、善意及び国際的平和の増進」という国際奉仕の考え方が発表され、翌1922年ロサンゼルス大会にて綱領に追加、国際ロータリー(RI)に改称
- ⑤1927年オステンド大会にて国際奉仕が採択追加、四大奉仕(クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕)
- ⑥1962年インドのラハリーRI会長が「世界のどこかの片隅に、一人でも不幸な人がいる限り、我々ロータリアンは幸せになることは出来ない」と世界社会奉仕の概念を提唱、当初は盲目対策、スラム対策が実施
- ⑦1966年日本第1号WCS活動としてインドの救済事業を実施(365地区:大阪・京都・奈良・和歌山)
- ⑧2007年RI理事会は「四大奉仕部門」をクラブ定款に明記することを提案し規程審議会により採択、この中の「他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動」とはWCSを念頭に置いた表現

(海外姉妹クラブとの国際交流とWCSプロジェクト)

「姉妹クラブ」「友好クラブ」を締結した海外RCと連携し、双方国あるいは第三国でWCS活動を共同で行うことで、長期的な友好関係と信頼関係築かれ、国際親善と親睦活動を推進(グローバル補助金の活用)

クラブフォーラム(2月24日)

姉妹クラブ交流委員会ご担当 高野 幸雄 会員

まず、当クラブにおける姉妹クラブ委員会の役割を考えてみます。

姉妹クラブ委員会は 国際奉仕委員会を補佐する立場であり、大きく二つの役割があると考えています。

①クラブ(国際奉仕委員会)が、WCS活動等を姉妹クラブと連携して実施する際の実務を補佐する。

②恒常的な姉妹クラブとの交流を通じて、相互理解を深め、共同での奉仕活動の実践等に役立てる。

本年度の当クラブWCSは、台北華山RCがホストを務める「Gongjiao District Elementary school Literacy Program」に協賛する形で実施します。

プログラムの目的/(台北北東部に位置する新北市貢寮区の恵まれない小学生に読書の習慣をつけさせ、読み書き能力を高める支援を目的しており、貧困生活の悪循環からの脱却を助けることが究極のゴールとする。)

この奉仕活動には台北近郊から台北華山RC併せて6クラブ、台湾南部の高雄から1クラブ、そして当大阪ユニバーサルシティRCが参加し、計8クラブでのWCS活動となります。

児童向け教材や講師セミナー費用等併せて総額US \$ 9,375、日本円で約100万円相当の予算です。

今回、当クラブからはUS \$ 1,875、日本円で20万円相当を拠出します。

ただし、実際には既に台北華山RCからは、我々のロータリークリスマスinUSJプログラムに対して日本円20万円を寄贈頂いているので当クラブの負担は相殺されます。

又、今後 我々が提言している養護施設出身者に対するケアプラス基金にも賛同の意思表示を頂いています。

このように 姉妹クラブの台北華山RCは発想も柔軟で、非常に積極的に、直接的・間接的に当クラブとの共同奉仕活動に取り組んでくれています。

今後も国際奉仕活動を続けていくには姉妹クラブとの連携が非常に重要になります。

その上で、今年度当クラブで国際奉仕委員会と姉妹クラブ委員会を統合した目論見は間違っておりません。恒常的に継続して姉妹クラブとの連携を深める役割に期待します。

この度、姉妹クラブの台北華山RCが記念すべき設立10周年を迎えられるにあたり、当クラブからは約15名の出席を予定しています。この機会を利用して 更に交流を深めていきたいと思いをします。

大阪ユニバーサルシティRC URL: <http://www.osaka-ucrc.org/> E-mai: ucrc@osaka-ucrc.org 創立: 2001年3月27日
事務局 〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-68 リーガロイヤルホテル401号室 TEL: 070-5020-6459
会長: 斎藤清貴 幹事: 三宅一郎 会報担当: 大橋高志 例会: 毎週 月曜日 12:30~13:30 リーガロイヤルホテル

4つのテスト / 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか